

# 放送コンテンツ海外展開促進機構 (BEAJ) について

平成27年4月

一般社団法人 放送コンテンツ海外展開促進機構

## 1. 概要

日本の放送局や権利者団体、大手商社などが中心となり、日本のテレビ番組の海外展開促進を目的として平成25年8月23日に設立。

## 2. 設立の目的

### 定款第2条

（前略）我が国の放送コンテンツの市場拡大、放送文化の発展や我が国に対する理解・関心の向上を図り、もって我が国と外国との経済交流の発展や官民一体となってクール・ジャパン戦略やビジット・ジャパン戦略をはじめとする国家戦略に基づく成長の促進に寄与することを目的とする。

### 3. 構成

理事長	岡 住友商事・相談役
理事社 (16社)	<p>地上放送 NHK、日本テレビ、テレビ朝日、TBS、テレビ東京、フジテレビ</p> <p>衛星放送 スカパーJSAT、WOWOW</p> <p>権利者団体 日本音楽事業者協会、日本芸能実演家団体協議会、日本レコード協会</p> <p>関係業界 住友商事、伊藤忠、電通、博報堂、日本民間放送連盟</p>
その他 会員社 (20社)	<p>九州朝日放送(株)、札幌テレビ放送(株)、(株)Jリーグメディアプロモーション、(一社)日本動画協会、東京メトロポリタンテレビジョン(株)、(一社)日本ケーブルテレビ連盟、北海道テレビ放送(株)、朝日放送(株)、(株)三菱総合研究所、(一財)音楽産業・文化振興財団、読賣テレビ放送(株)、関西テレビ放送(株)、(一社)全日本テレビ番組製作社連盟、東海テレビ放送(株)、北海道放送(株)、ワーナー エンターテイメント ジャパン(株)、中京テレビ放送(株)、(一社)日本音楽出版社協会、(株)IMAGICAティーヴィ、日活(株)</p>

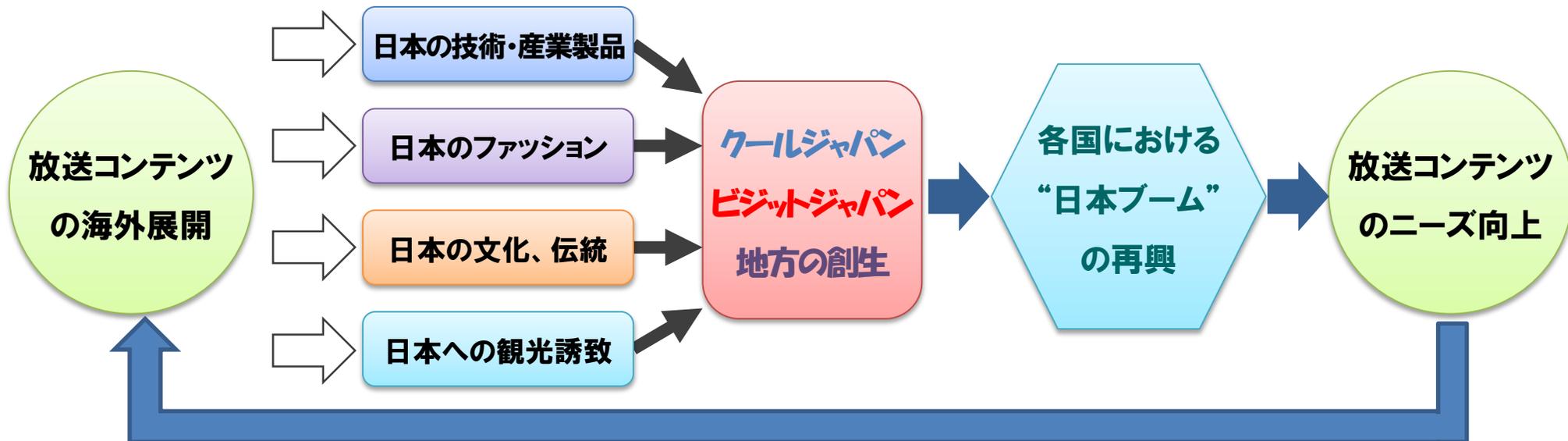
放送コンテンツの海外展開に対して、国の経済的なサポートを受けつつ、日本の放送コンテンツの国際競争力の向上を促進。アジアを中心とする各国での放送枠の大幅拡大を図る。



これにより、日本の技術、産業製品やファッション、文化、伝統、日本語などへの関心を向上させ、「クールジャパン戦略」に貢献するとともに、観光客の誘致への波及効果等を引き出し、「ビジットジャパン戦略」や「地方の創生」にも寄与する。



これにより“日本ブーム”を創出させ、それによって日本の放送コンテンツへのニーズが高まるような『好循環構造』を構築する。



## <①ASEAN主要国における日本コンテンツの継続的放送>

○ASEAN主要国で地上波等の効果的なメディアで放送枠を確保し、魅力ある日本の放送コンテンツを継続的に放送。

○当面のターゲットとして、ASEAN6か国(フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム、ミャンマー)を重点的に諸活動を展開

## <②官民連携オールジャパン・ワンチーム体制の構築>

○国家予算も最大限活用しつつ、官民連携オールジャパン・ワンチーム体制で取り組む

## <③他の関係機関との積極的連携>

### <連携の例>

○クールジャパン機構との間で業務連携に関する覚書を締結(2014年3月24日)

○日本政府観光局(JNTO)や日本貿易振興機構(JETRO)との協力  
(取材地の選定協力、連携イベントの実施 等)

# 地上波テレビ放送枠を活用したコンテンツの発信

○BEAJ協力の下、ASEAN6か国において以下の10のプロジェクトを採択。

対象国	担当社	概要
フィリピン	フジテレビジョン 住友商事	現地有名タレントを起用した人気情報番組中に日本紹介枠を継続的に放送 (新規製作)
マレーシア	東京放送ホールディングス	アジア3カ国の人気タレントが日本文化を体験する情報番組(新規製作)
	日本テレビ放送網 住友商事	現地有名タレントが日本国内を旅する鉄道紀行番組(新規製作)
インドネシア	電通(テレビ東京ホールディングスほか地方民放各局)	地方民放各局と連携してアジアの人気タレントが日本各地を紹介する旅・情報番組(新規製作)
タイ	伊藤忠商事	日本ポップカルチャーをテーマとした情報番組(新規製作)
	日本音楽事業者協会	アニメソングによるクールジャパン・ビジットジャパンを効果的にアピールする番組 (新規製作)
	テレビ朝日 (博報堂DYMP)	タイの若者から見た日本の魅力をオムニバス形式で紹介する番組(新規製作)
ベトナム	TBSテレビ(電通)	「ジャパンドラマアワー」として、現地の有力地上波局にて日本放送局の有名ドラマをまとめて継続的に放送
ミャンマー	日本国際放送 (NHKグループ)	地方局と連携し、コンテンツを継続的に放送
	伊藤忠商事(民放各局)	日本放送局の有名コンテンツを継続的に放送

## タイにおける「J Series Festival」

- 2014年11月、「国際ドラマフェスティバル in Tokyo」実行委員会主催の日本の放送コンテンツのプロモーションイベント「J Series Festival」をタイで開催。  
※日本のドラマ出演者やミュージシャン、アニソン歌手、タイの有名タレント等が参加。
- 上記イベントにおいて、タイで実施する3つの地上波プロジェクトの記者発表を実施。
- 更に、観光庁・JNTOが主催する「Visit Japan」イベントや、JETRO・音楽業界団体が主催する「J POP Signature」も同時期に開催し、一連のイベントを「ジャパン・ウィークエンド (JAPAN WEEKEND)」と題して「観光」「音楽」「放送コンテンツ」のプロモーションの有機的な連携を図ったところ。



昨年11月に開催された「J Series Festival」の様相

### <具体的な連携方法>

- ①相互のイベントチケットの提供
- ②各イベント内での他2者イベントの紹介
- ③出演アーティストの相互イベントへの参加
- ④Facebookページでの相互告知
- ⑤共同記者会見(日本・タイ)



## フィリピンに対する官民合同ミッション

○日時:

平成26年1月13日(月)～14日(火)

○概要:

- 新藤総務大臣(当時)のフィリピン訪問にあわせて派遣された「地デジ・ICT分野の官民合同ミッション」の一環として実施。
- 日本側からは、放送局やベンダー等の幹部が同行し、先方の主要地上波放送局2社(ABS-CBN、GMA)幹部への表敬訪問及びラウンドテーブルを開催。



## エクアドル地デジセミナーにおけるコンテンツブース

○日時:

平成26年4月28日(月)～29日(火)

○場所:エクアドル

○概要

- 上川総務副大臣(当時)のエクアドル訪問にあわせて開催された地デジ国際ビジネスセミナーにおいて、日本の放送コンテンツを紹介するブースを出展。



### コスタリカ地デジセミナーにおける コンテンツブース

- 日時:平成26年9月10日(水)
- 場所:コスタリカ
- 概要
  - 中南米地域での地デジ分野への協力強化のため、地デジフォーラムを開催。
  - 日本の放送コンテンツを展示するコンテンツブースも設置され、ソリス大統領、ルイス通信次官等も来場。



日本の放送コンテンツ  
の展示



ソリス大統領(左)、  
ルイス通信次官(右)  
展示視察

### 日越ICTフォーラムにおける コンテンツブース

- 日時:平成27年1月15日(木)
- 場所:ベトナム・ハノイ
- 概要
  - 西銘総務副大臣のベトナム訪問にあわせて開催された日越ICTフォーラムにおいて、4Kを含む日本の放送コンテンツを紹介するブースを出展。



### マレーシアにおける 放送コンテンツイベント

- 日時：平成27年3月9日（月）
- 場所：マレーシア・クアラルンプール
- 概要
  - マレーシアにおいて、日本とマレーシアの共同製作番組(※)の紹介を目的とする放送コンテンツイベントを開催。
    - ※「Find the WASABI」や「Welcome to the Railworld」等
  - 共同製作番組の上映や4Kを含む放送コンテンツの展示とともに、伊勢丹で実施した番組関連イベントについて紹介。



共同製作番組の上映



展示内容の説明模様